

2018年1月8日

社長年頭あいさつ(要旨)

トヨタ車体株式会社では、1月8日(月)11時10分よりTABホールで辞令交付式を行いました。この中で、取締役社長 増井 敬二からの社員に向けた年頭のあいさつ要旨は以下のとおりです。

一元化の年。当事者意識とやりきる覚悟を持とう!

自動車業界全体が業界の枠を超えた激しい競争の真ただ中にあります。これらに素早く対応していかななくては企業の存亡にかかわるといっても過言ではなく、CV Companyとしても一層の競争力強化に取り組んでいかなければなりません。そのためには、仕事の進め方を変革し、従来の延長線上にない画期的な競争力向上を図ることが必要です。

CV Companyとしての中核を担うために領域拡大していくことは大切ですが、それをやる上で、まずは足元の基盤をしっかり固める。これをなしにしては、目指す姿の実現はありません。

今回の組織変更では、「もっといい CV づくり」に向け、開発においては、バン系開発組織を当社へ一元化し、当社が主体的に推進する体制をつくりました。また、生産技術については、CV 生産技術 = 当社生産技術というように当社が担当車種と機能の拡大を図り、その中核を担っていかなければなりません。

今後、これらの課題に取り組むにあたり、皆さんにお願いしたいことをお話します。

1. 「当事者意識」と「やりきる覚悟」をもつ

完成車両メーカーになるということはお客様に対して全責任を負うということです。責任をもって前面に出て主体的に取り組んでいただきたいと思えます。そしてこれは開発・生技だけではなく、事務・生産の皆さんも同様に自分事として受け止め、自ら何をすべきかを考え行動し、全社一丸で取組みを加速させていきましょう。

2. CV Company メンバーが一体となって取り組む

今回の人事異動では、一体運営を加速させるために、トヨタ自動車から新規出向者を迎えることになりました。ぜひ、「もっといい CV づくり」という同じ目標に向かって、お互いをリスペクトし、良いところは学び、弱いところは補い合い、力をつけるという姿勢でお互いの力を重ねあわせ一体となって取り組んでいただきたいと思えます。

最後に、今年は当社にとって正念場とも言える年です。新しいチャレンジを進めていく中で色々な困難に直面することがあるかと思えます。ただ、この取り組みなしでは、当社がこれまで目指してきた姿を実現させるための未来を拓く道はありません。将来振り返った時に、あの時の苦労があったから今のトヨタ車体があるんだと、みんなで語り合えるようなエポックメイキングな1年にしていきたいと思えますので、共に頑張っていきましょう。

世界のくらしに 笑顔届けたい

